

通行車両を呼び込む明るいスタンドが実現 低消費電力と長寿命で照明コストを削減



導入先

株式会社 酒直さま

- 和歌山/和歌山市(本社)
- 1905年創業。石油製品をはじめ、土木建設資材、住宅設備機器に加え、食品等も取り扱う総合商社として幅広く事業を展開。ガソリンスタンドや食品部の直営店舗も運営されている。
- コスモ石油 セルフステーション下津さま(本物件)/和歌山/海南市



導入商品

LEDキャノピー灯

DL-EG004-W×14台



- 2011年5月、直営ガソリンスタンド・コスモ石油 セルフステーション下津さまの照明を水銀灯からリニューアル。

こんなソリューションを実現しました。

導入前の課題

従来の水銀灯は老朽化が進み、リニューアルを検討。これを機に、通行車両によく目立つ、明るい照明でスタンドのイメージもアップしたいと考えました。また、照明のランニングコストの削減も大きな課題でした。

夜間にセルフ給油していただく際も、手元の明るさがアップし、より安全、快適にできるようになりました。

電気代、メンテナンス費用が、トータルで年間60%以上、大幅に削減できる見通しです。

見栄えのするデザインと環境対策で、ガソリンスタンドとしてのイメージアップが図れました。



株式会社 酒直
取締役 石油部担当
川辺 義昭さま

■ 導入の背景

明るさと同時にデザイン性にもこだわり、電気代の多くを占める照明コストも削減したい。

8年前に導入した400W水銀灯は老朽化が進み、リニューアルを検討していました。当スタンドはセルフのため、お客さまが安全に給油できるように十分な明るさを確保することが最優先の課題でした。また、見栄えのする照明の導入により、スタンドのイメージアップも図れればと考えました。さらに、ガソリンスタンドは、全消費電力に占める照明の割合が高いので、コストの削減も大きな注目点でした。

■ 選ばれた理由

ランニング&メンテナンスコストが大幅に低減。お客さまに不快感を与える虫も寄りにくい。

試算では、年間約18,100kWの消費電力が約9,400kWに削減できる見込みで、年間約19万円の節電効果に加え、LEDは水銀灯の約5倍の寿命なので、管球交換費も大幅に削減。トータルで60%以上のコストカットが期待できます。また、以前は照明に虫が大量に集まり、お客さまに不快感を与えていましたが、LEDは紫外線をほとんど出さないで虫が集まりにくく、快適に給油作業をしていただけたと考えました。

■ 導入後の効果

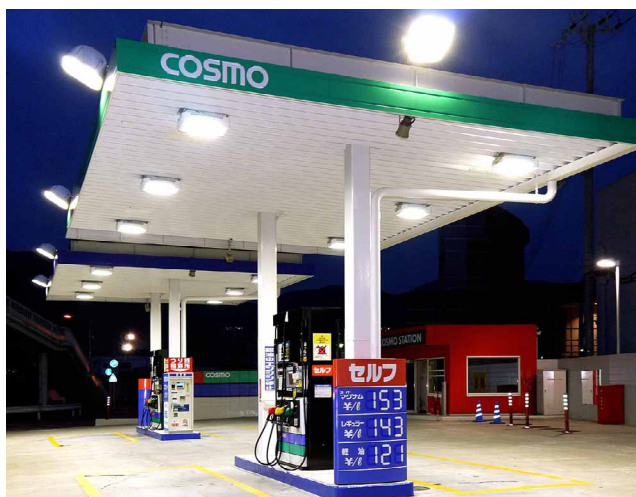
手元を効果的に照らし出す明るい照明。見栄えのするデザインでスタンドがイメージアップ。

夜間、通行車両が立ち寄るガソリンスタンドの第一条件は、煌々と明るいことです。ガソリン給油部分、LEDキャノピー灯直下の平均照度は約450ルクスを実現、お客さまにより明るい環境で給油していただけるようになりました。また、従来、ガソリンスタンドの照明は機能性だけで判断されがちでしたが、シャープ製キャノピー灯は、見栄えのするデザインでスタンドのイメージアップに一役かっています。

■ 今後の展望

他のスタンドのLED化も推進したい。キャノピー灯だけでなくヤード灯なども視野に。

今回の導入は、直営のガソリンスタンド10店舗の先駆けとなるもので、今後は節電の効果を検証しながら、順次、他のスタンドにも拡げていこうと考えています。また、キャノピー灯に限らず、スタンド全体を照らすヤード灯などもLED化を検討。環境配慮型企業として、スタンド全体のLED化を視野に、省エネ、温暖化防止対策を推進していきたいと思っています。



給油機を明るく照らす12台のLEDキャノピー灯
(キャノピー周辺部は水銀灯)



灯油の給油機の上にも2台のLEDキャノピー灯



通行車両の多い国道42号線に面する24時間営業の「コスモ石油セルフステーション下津」さま